

過去の治療データの調査研究への使用のお願い

当院では下記の研究を行っております。この研究は、【タクロリムス内服中の腎移植後患者における可逆性後白質脳症症候群の治療経過】を調べることを主な目的としています。そのため、過去に治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

課題名：タクロリムス内服中の腎移植後患者における可逆性後白質脳症症候群の検討

<目的及び概要>

可逆性後白質脳症症候群（posterior reversible encephalopathy syndrome: PRES）は頭痛や意識障害等の様々な神経症候を呈す脳症です。高血圧性脳症、子癇、免疫抑制剤、特にカルシニューリン阻害剤（calcineurin inhibitor: CNI）の使用と関連しており、脳浮腫や脳出血により致死的な転機をたどることがある重篤な疾患です。本研究の目的は、腎移植後の患者さんで CNI 内服中に生じる PRES の臨床的な特徴を明らかにし、疾患の理解を深めるとともにより適切な治療につなげることです。

<研究方法>

本研究は、CNI であるタクロリムス内服中の腎移植後患者における可逆性後白質脳症症候群について、臨床データを中心に後方視的に検討を行います。対象期間は 2003 年 9 月から 2020 年 10 月までとし、その期間に腎移植後のタクロリムス内服中に PRES と診断された患者さんを対象とします。症状・画像の経時的変化を内服や血圧の変化とともに評価を行います。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<費用に関して>

この研究に参加することによって新たな診療費用が加わることはありません。また、患者様への謝礼等もありません。

<研究者>

脳神経外科： 榊 孝之 他

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事課
電話：0798-34-5151（代表）